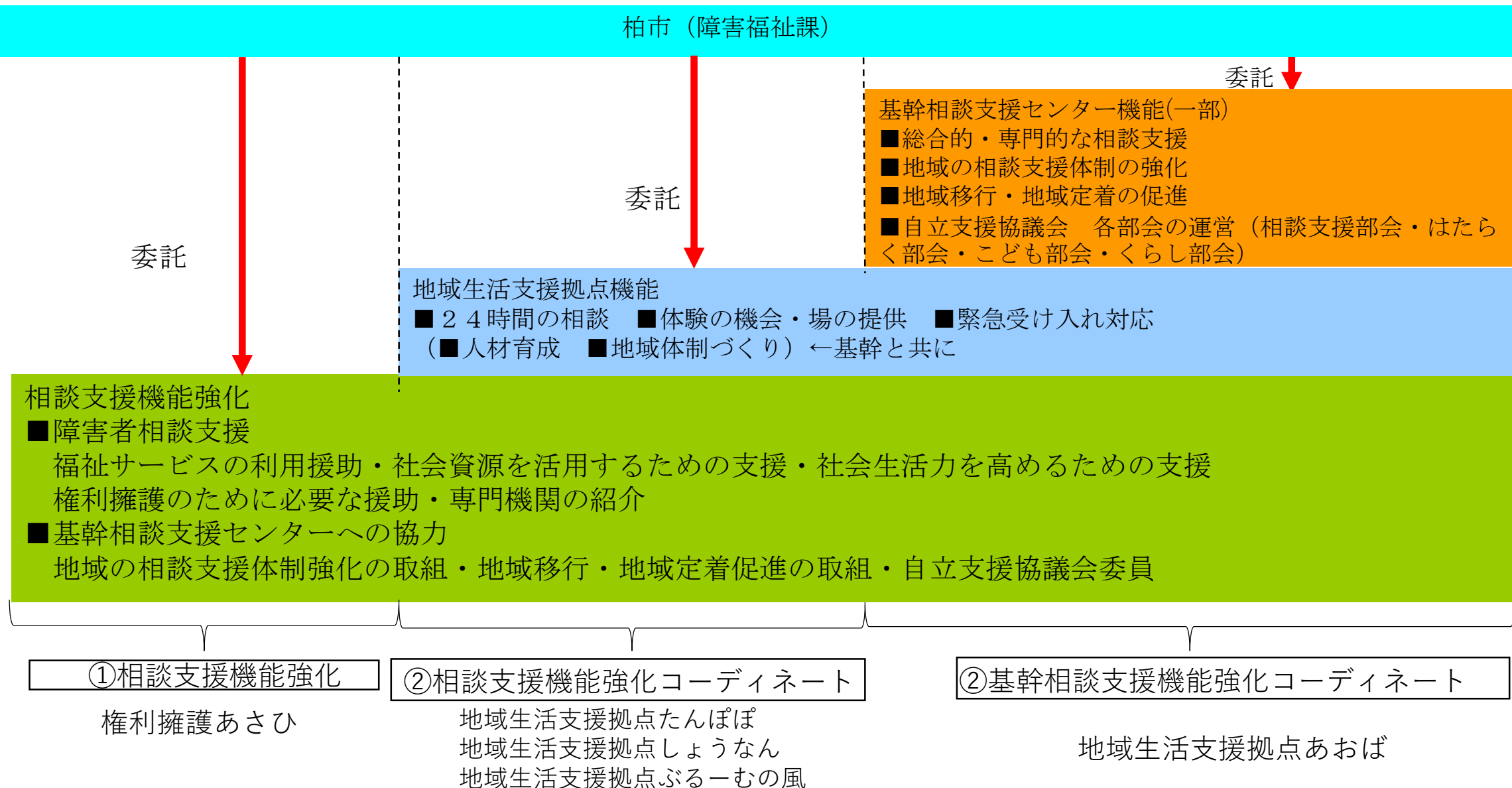


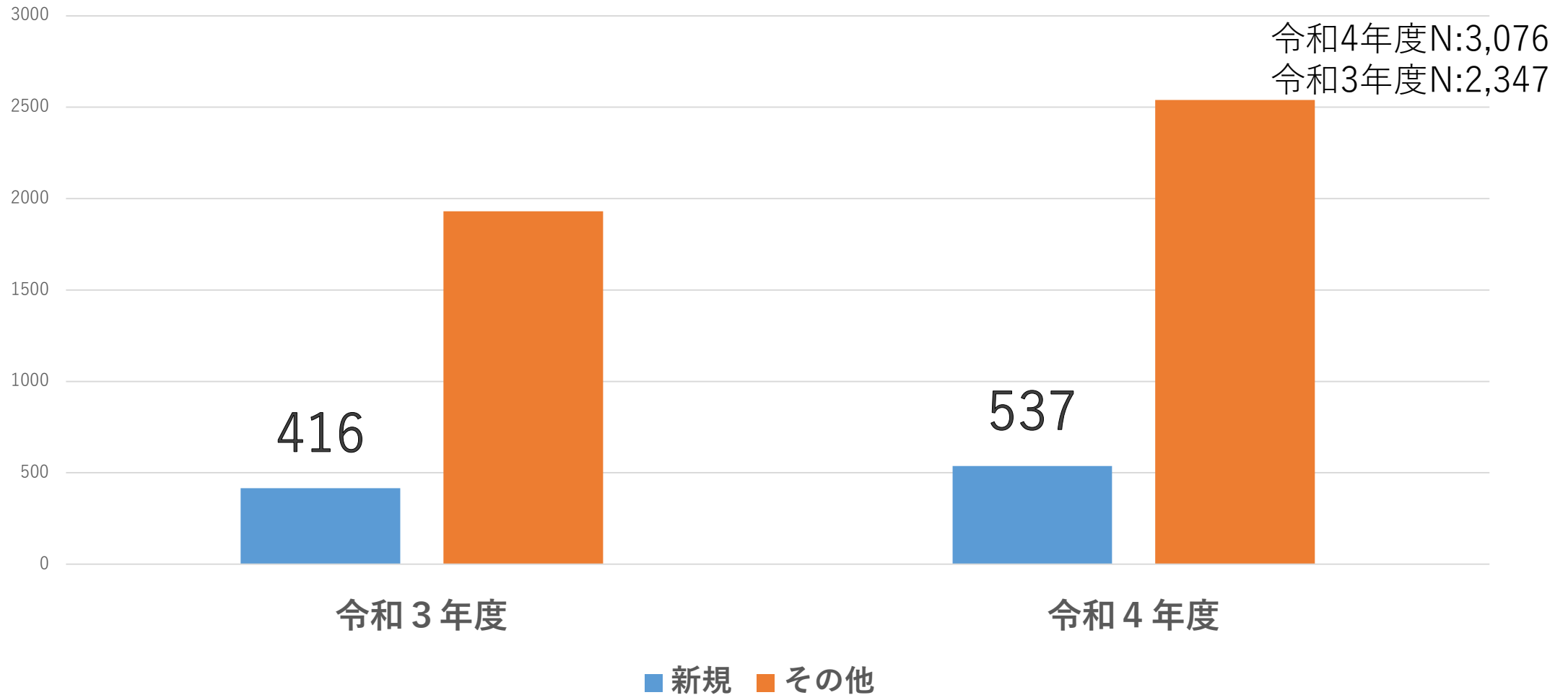
令和4年度 柏市委託相談支援事業実績報告

柏市における委託相談支援事業

柏市における相談支援機能（令和4年度）

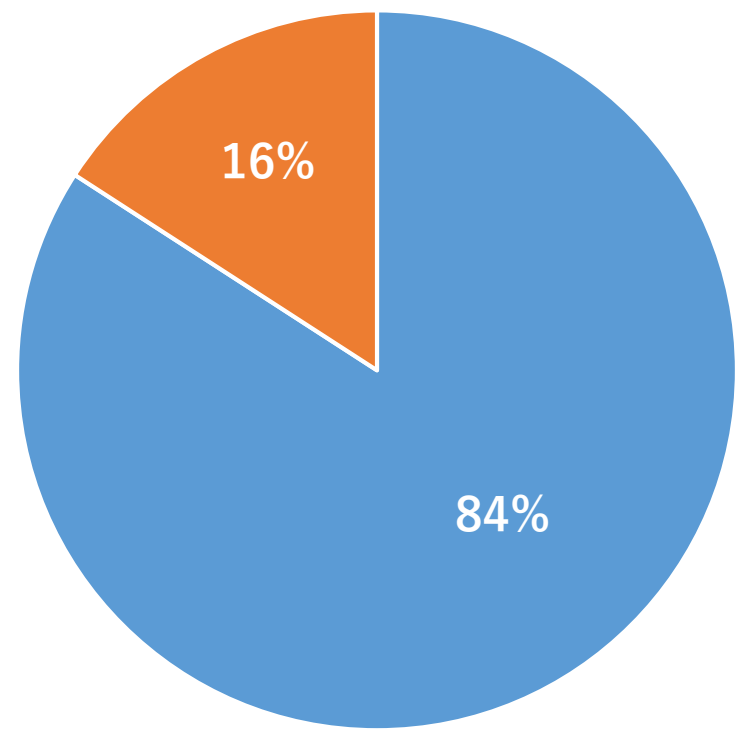


1. 相談支援を利用した障害者等の新規人数の比率 令和3年度との比較（実人数）



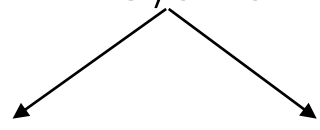
2.相談支援を利用した障害者等の数値（実人数）

障害者・児の比率

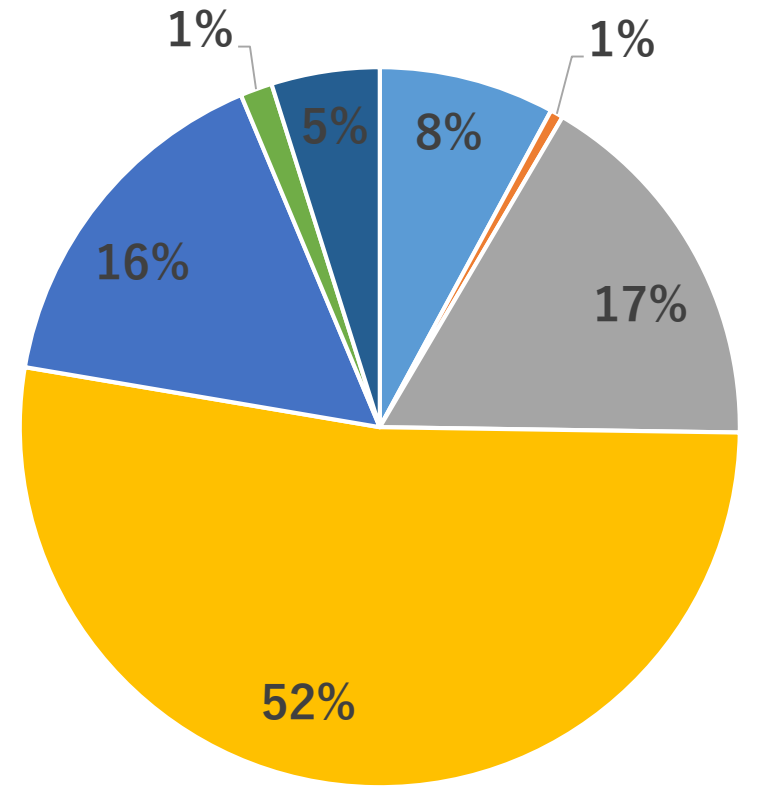


■ 障害者 ■ 障害児

N.3,076

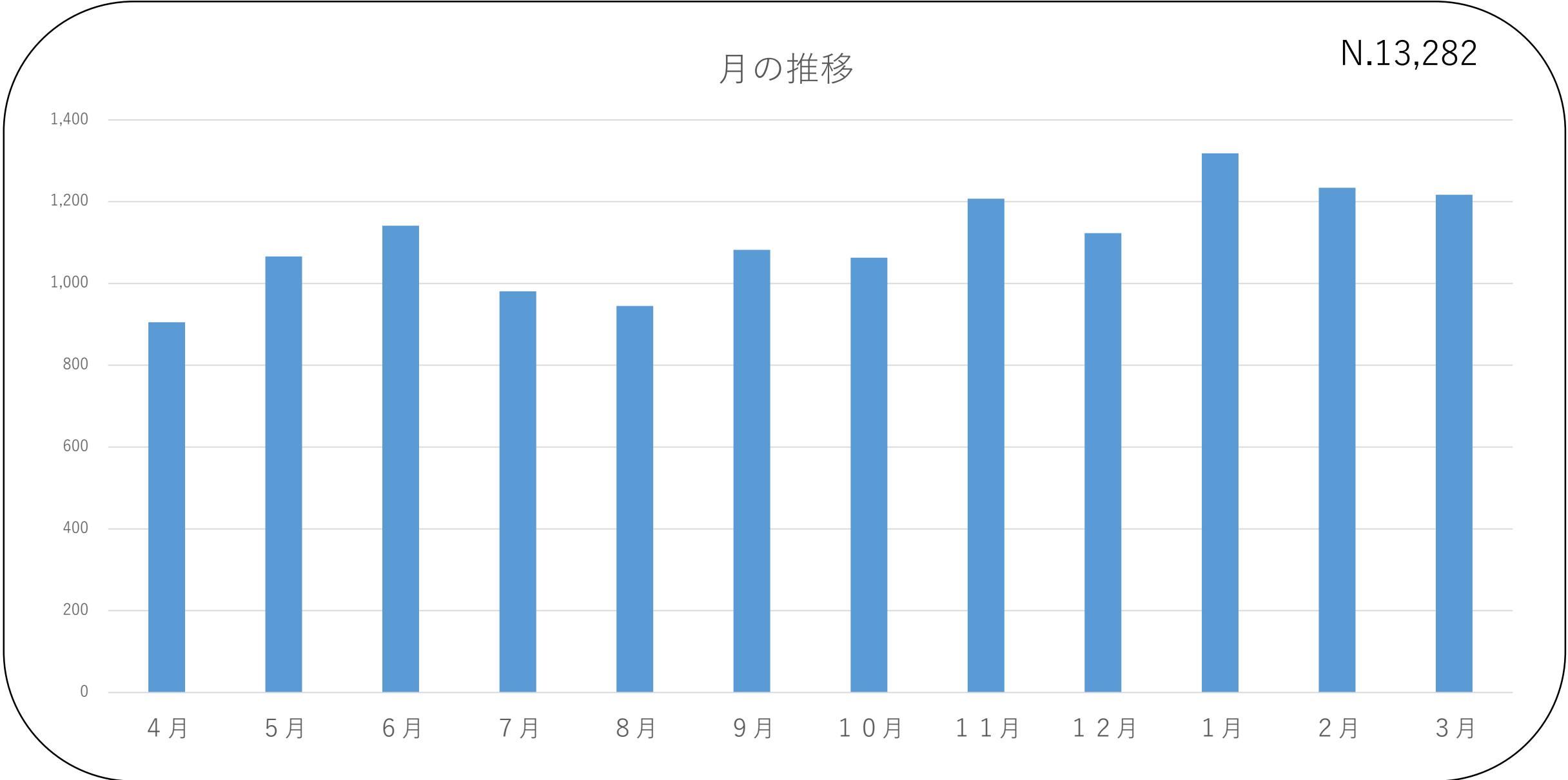


障害内訳

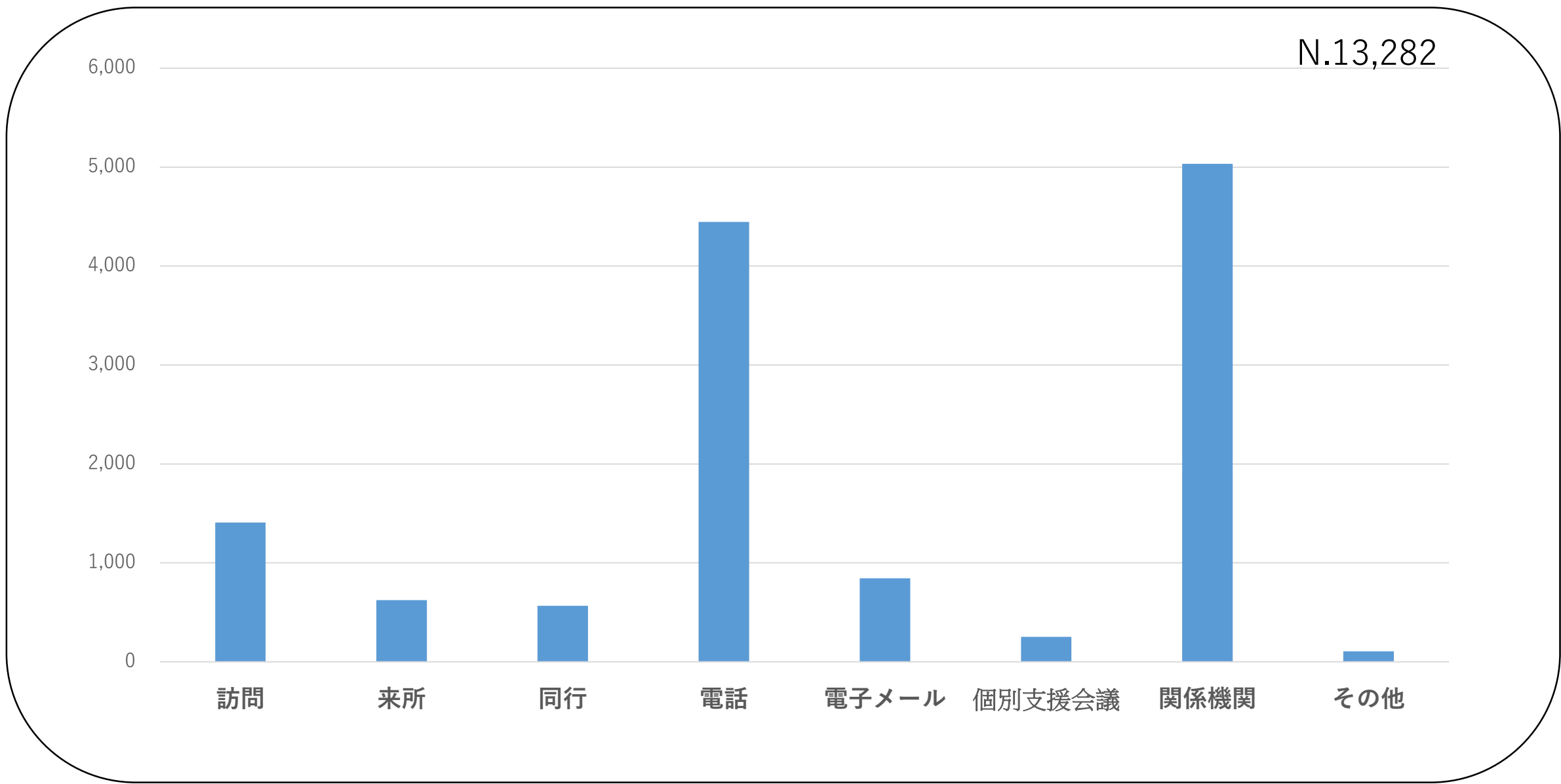


■ 身体 ■ 重心 ■ 知的 ■ 精神 ■ 発達 ■ 高次脳 ■ その他

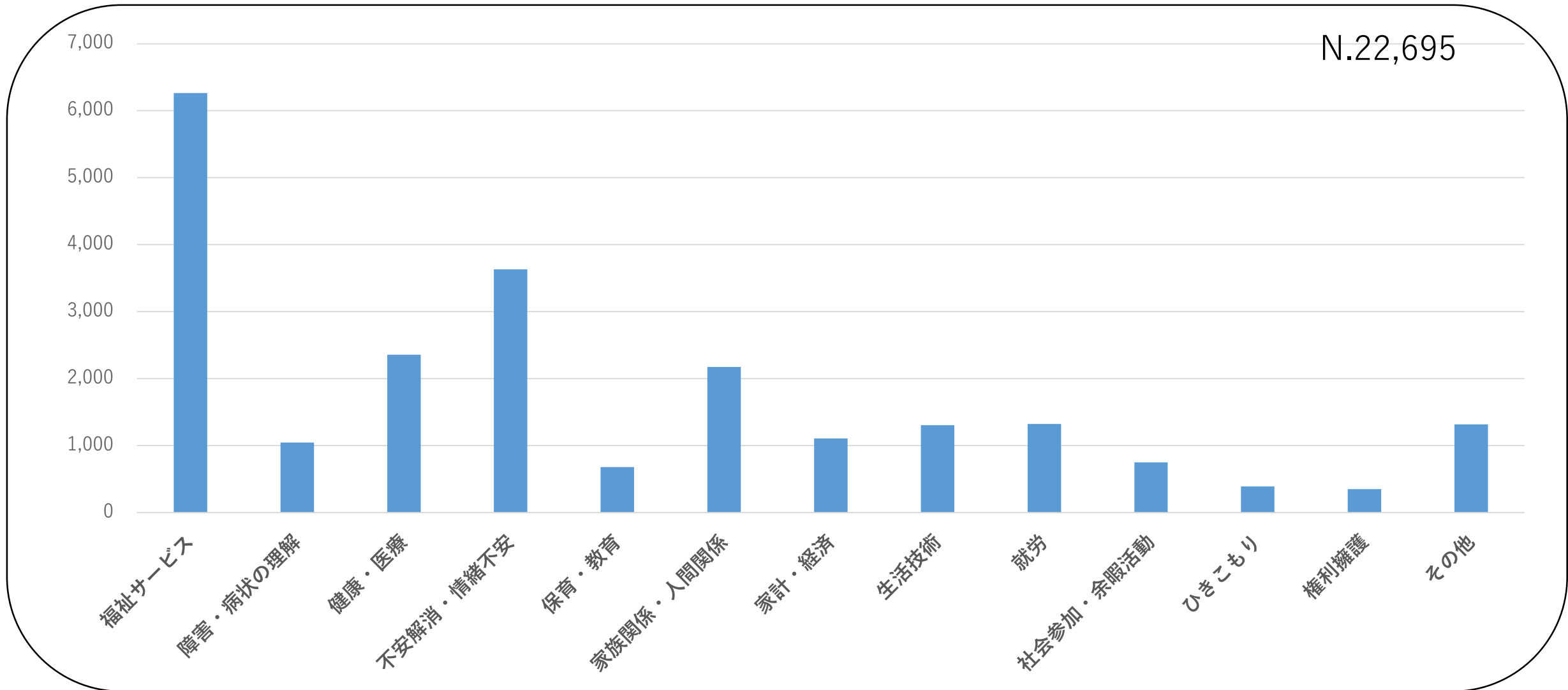
3.相談支援を利用した障害者等の数値（延件数）



4.支援方法（延件数）

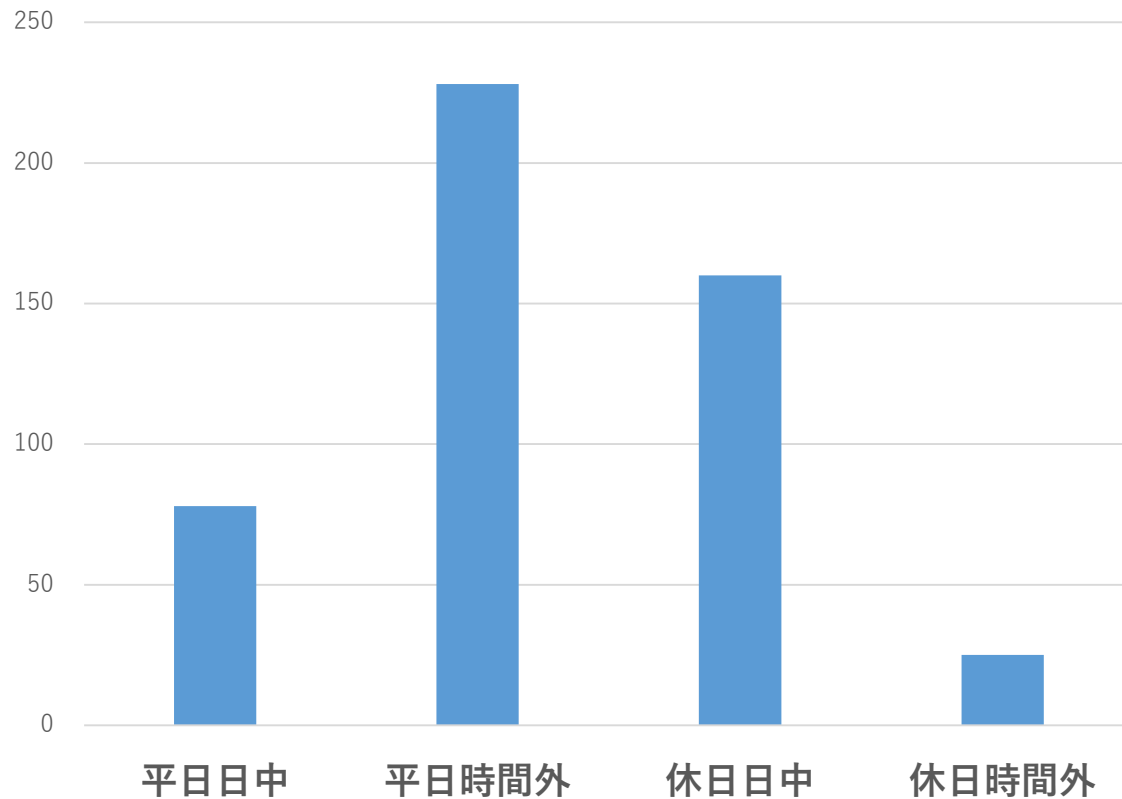


5.相談内容 (複数延件数)

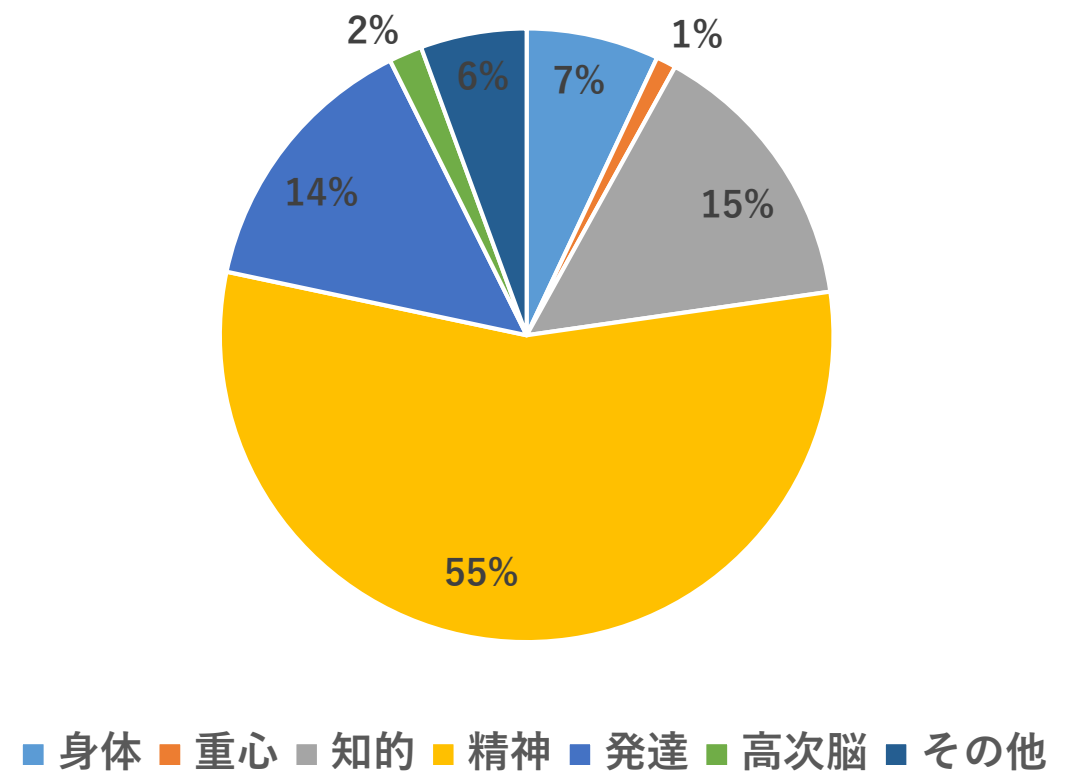


6.緊急・時間外休日対応（拠点のみ）

対応時間帯 N.491（延件数）



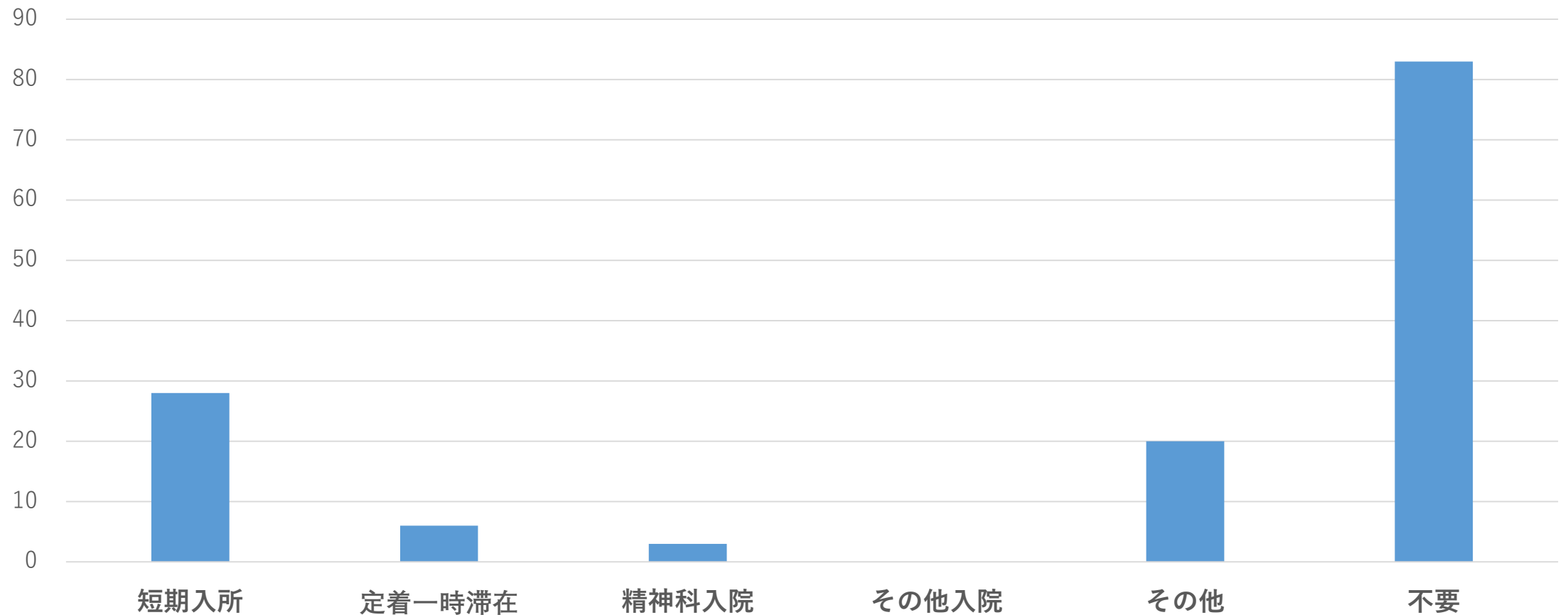
障害種別 N.286（実人数）



7.緊急・時間外休日対応（拠点のみ）

緊急受け入れ・対応の結果

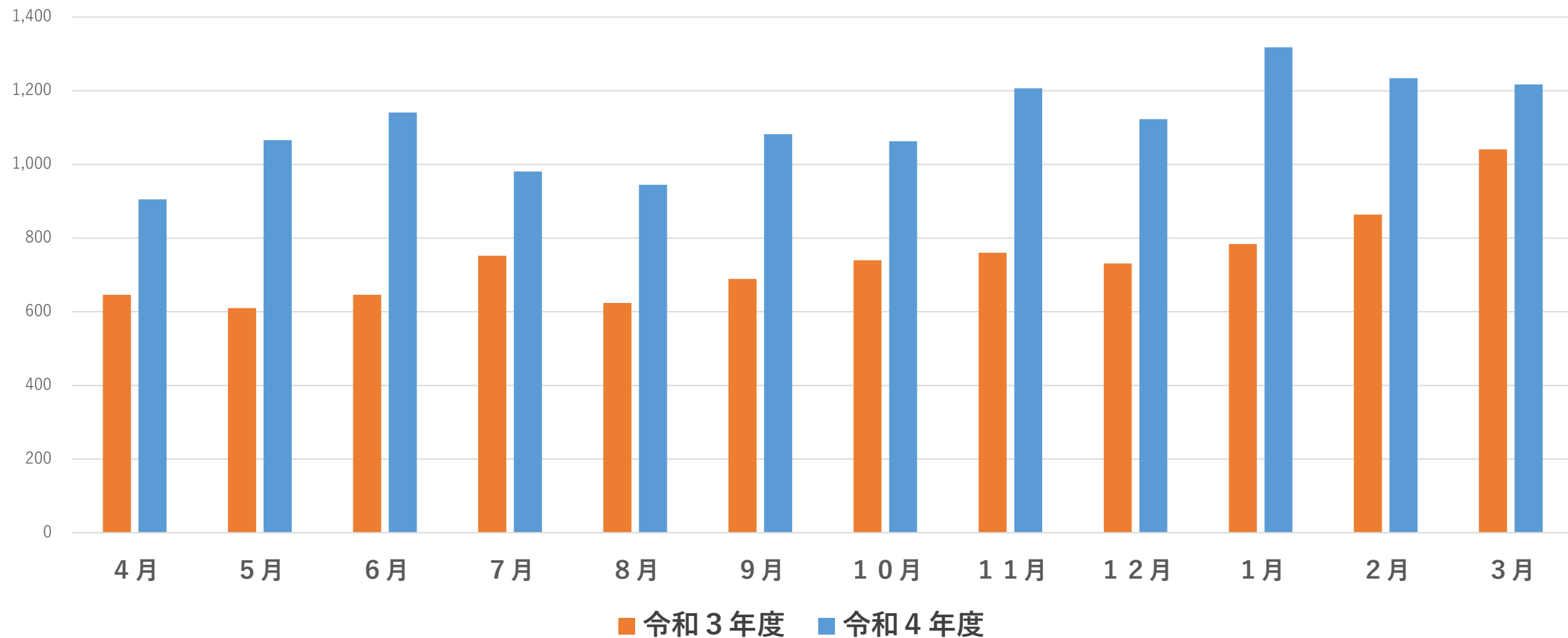
N.140（実人数）



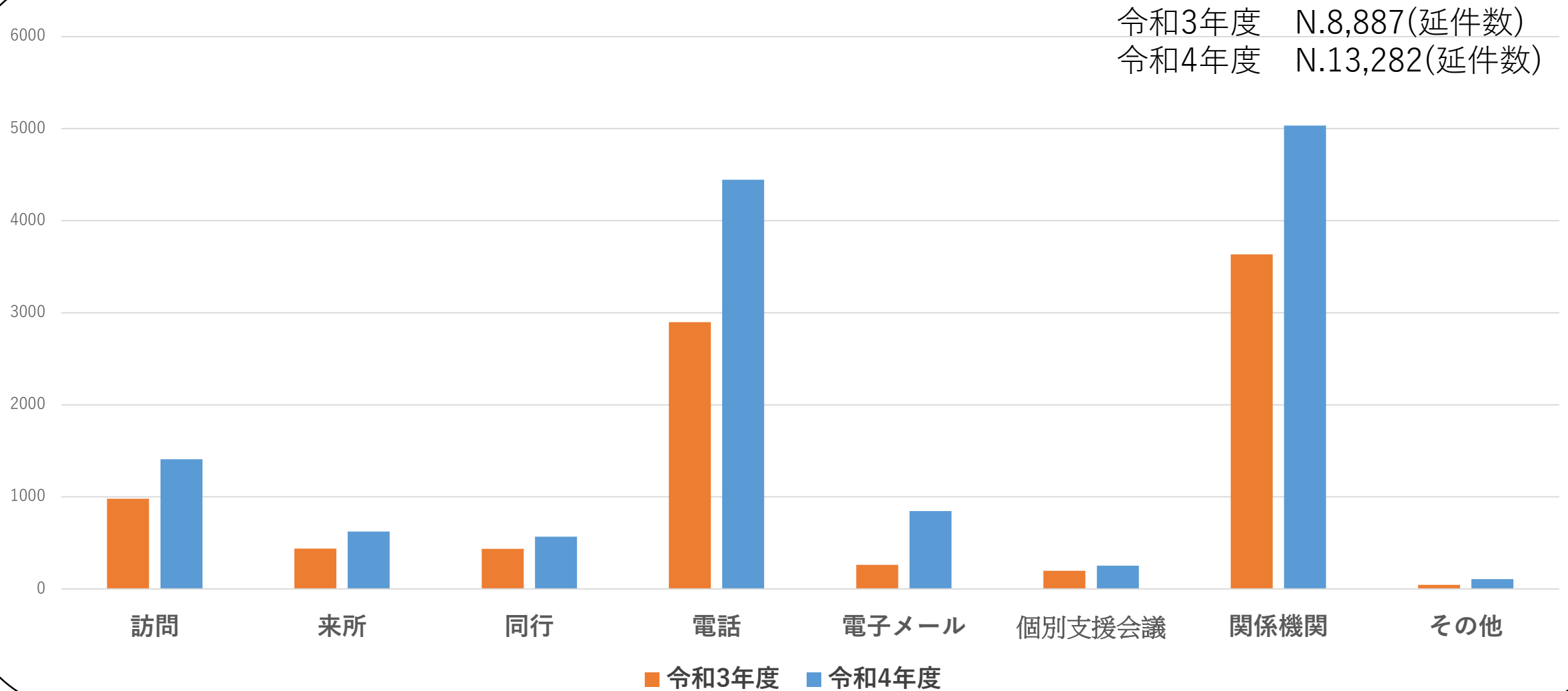
8.相談支援を利用した障害者等の数値を令和3年度と比較

月の推移

令和3年度 N.8,887 (延件数)
令和4年度 N.13,282 (延件数)



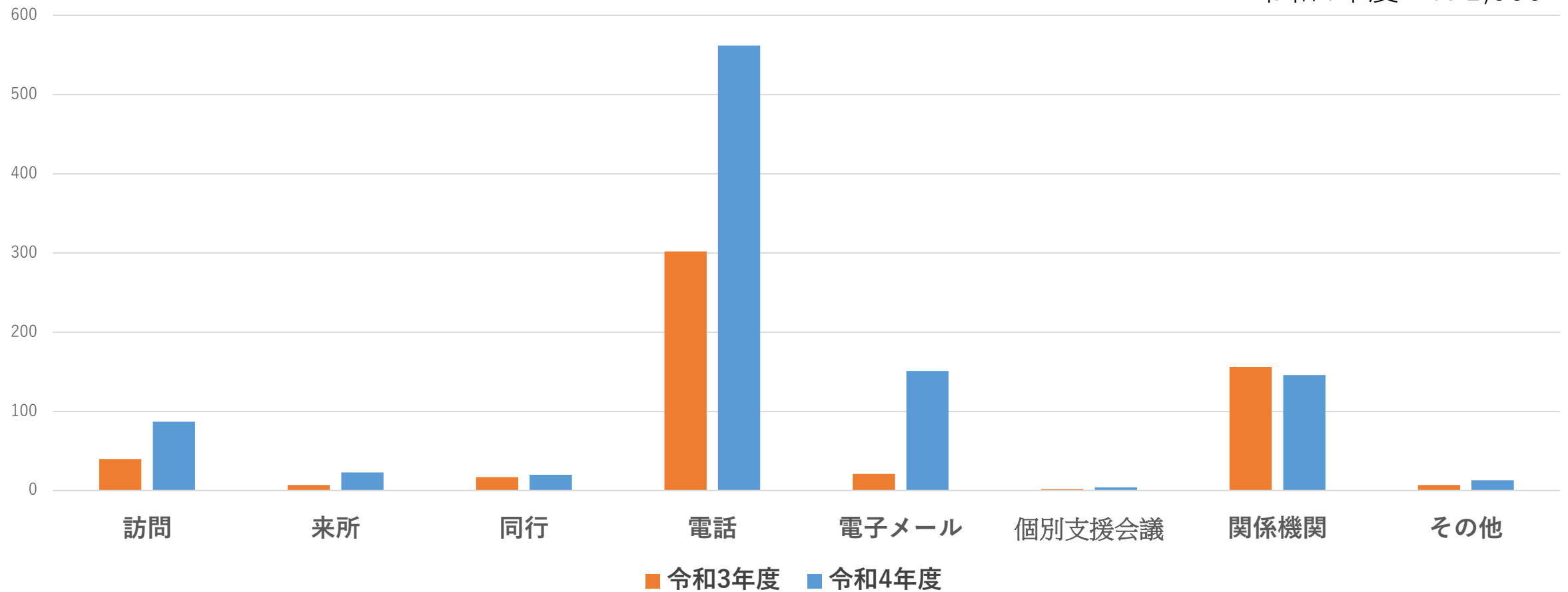
9.支援方法を令和3年度と比較



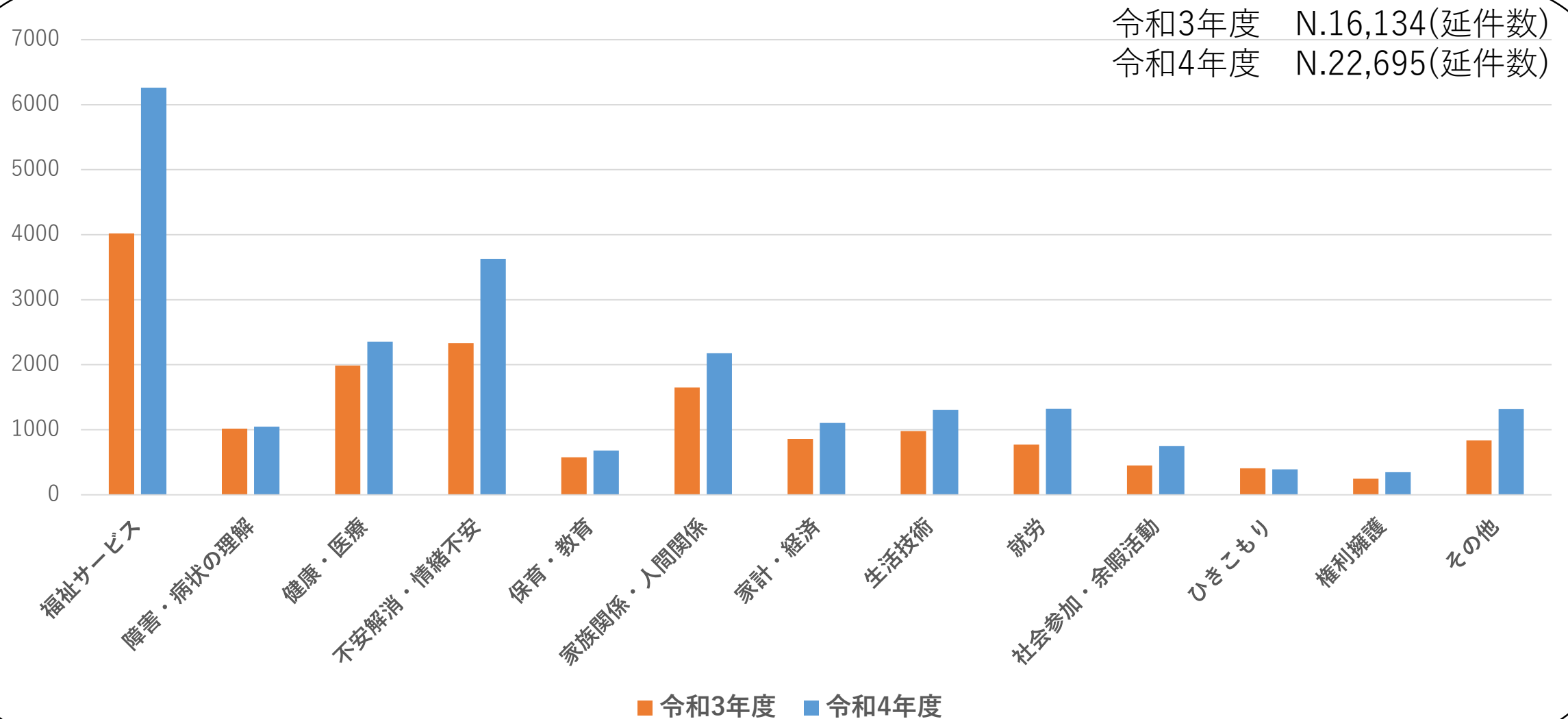
10.支援方法を令和3年度と比較

(内)緊急・時間外休日対応

令和3年度 N.552
令和4年度 N.1,006



11.相談内容を令和3年度と比較



まとめ1

- ・相談の実人数は令和3年度より729人増加。新規相談人数は121人増加していた。
- ・相談は成人の障害者が8割を占めていた。
- ・相談は精神の障害者が5割を占めていた。
- ・月別にみると1月が一番多かった。
- ・支援方法では、関係機関との調整連絡が一番多く、次いで電話での相談が多かった。
- ・相談内容では、福祉サービスの相談が一番多く、次いで不安の解消、健康・医療の順になっていた。
- ・地域生活支援拠点のみの集計では、平日日中の緊急相談及び時間外休日の相談は491件となっており、精神の障害者からの相談が5割以上を占めていた。
- ・緊急案件での対応状況としては、約6割が調整不要で相談対応のみであった。

まとめ2（令和3年度との比較）

- 支援方法においては、通常時及び緊急時どちらも似た傾向にあるが、緊急・時間外対応における訪問及び電話による支援の件数が約2倍に増加していた。
- 相談内容においては、同様の傾向にあるが、特に福祉サービスに関する相談内容が昨年度と比較して、2,000件以上（延件数）増加していることから、明確な要因は不明なものの、コロナ禍が緩和される中で、サービス利用へのニーズが高まったのではと考えられる。

北部地区別研修

担当：地域生活支援拠点シャル

実施日	実施内容	対象者	参加人数
令和4年9月28日	「性について知る～児の成長にあわせて～」 (ZOOM開催)	北部・南部地域の相談支援事業所 市内放デイ事業所 児童生徒課協力の下、教育関係にも周知	62人
令和5年3月24日	成年後見制度 基本講座	北部地域の相談支援事業所 北部地域の地域包括支援センター 包括から北部地域のケアマネ 高田・松ヶ崎地域の住民	18人

北部地区別その他活動

担当：地域生活支援拠点シャル

	活動内容	実施方法等	備考
①	発達障害サポーター研修会	オンライン開催	
②	指定相談支援事業所への事業所訪問	対面又はオンラインで実施	
③	千葉県基幹相談支援センター連絡会	対面	東葛ブロック代表

中央地区別研修

担当：地域生活支援拠点たんぽぽ・権利擁護あさひ

実施日	実施内容	対象者	参加人数
令和4年12月8日	地域の福祉力向上研修	柏市全域の相談支援事業所 訪問看護事業所 医療機関 地域包括支援センター	69人

中央地区別その他活動

担当：地域生活支援拠点たんぽぽ・権利擁護あさひ

	活動内容	実施方法等	備考
①	地域生活支援4拠点会議 (たんぽぽセンター主催)		
②	精神保健福祉士実習生，公認心理師 実習生の受け入れ協力	たんぽぽセンターへの 受け入れ	淑徳大学、聖徳大学、江戸川 大学、日本社会事業大学、東 京未来保育福祉専門学校、順 天堂大学 等
③	民生委員への拠点周知活動	見学対応実施	

東部地区別研修

担当：地域生活支援拠点しょうなん

実施日	実施内容	対象者	参加人数
令和5年1月17日	成年後見のきほん	指定特定相談支援かたくり 沼南育成園 高柳B-BASE 一般市民	13人
令和5年3月15日	複合的課題をもつケース を地域の専門職で考える	いずみ園相談センター 音の音 サポートセンター沼南 サポートセンターよつば ぶるーむの風相談室 沼南地域包括支援センター 居宅介護支援事業所	25人

東部地区別その他活動

担当：地域生活支援拠点しょうなん

	活動内容	実施方法等	備考
①	グループスーパービジョン	毎回13時~15時で計4回実施	事例を用いて実施
②	グループスーパービジョン演習	毎回13時~15時で計5回実施	ストレングスモデルの各項目について各回実施
③	柏市地域資源ツアー	新規の相談支援事業所（4か所）、 柏市障害福祉課（ワーカー）を 対象に実施	相談支援従事者研修初任者の 実地研修を想定して実施

南部地区別研修

担当：地域生活支援拠点ぶるーむ

実施日	実施内容	対象者	参加人数
令和4年9月28日	「性について知る～児の成長にあわせて～」 (ZOOM開催)	北部・南部地域の相談支援事業所 市内放デイ事業所 児童生徒課協力の下、教育関係にも周知	62人
令和4年10月30日	重度知的障がい者の加齢に伴う心身の変化	柏市福祉事業所全域・当事者及びその家族対象	約100人
令和5年2月22日	成年後見制度講座	南部地区の相談支援事業所 南部地区地域包括支援センター 南部地区の生活介護	13人

南部地区別その他活動

担当：地域生活支援拠点ぶるーむ

	活動内容	実施方法等	備考
①	喀痰吸引3号研修	法人独自に本年度1回開催	
②	全身性移動介護従事者研修	本年度1回開催	
③	風らっとるーむ（町の保健室）でのグループカフェ	同じ悩みを抱える方同士の気持ちを共有する「もう一つの居場所」として、毎月1回開催	